

市民公開講座 ずっと健康でいるために~いま知っておきたい心臓病と下肢静脈瘤の最新治療法~

講演② 心臓の病気と治療の進歩

変わる心臓バイパス手術 拍動止めずに負担を軽減



熊本大大学院生命科学研究所
心臓血管外科学分野教授

福井 寿啓氏

心臓血管外科手術は全国でこれまで6万件以上行われており、決してまれな疾患ではありません。

心臓は筋肉の塊で、夜も休むことなく、1日に約10万回も収縮・拡張を繰り返しています。心臓には、送り出す血液を逆流させないための弁があり、冠状動脈など、心臓が表面に存在しています。

虚血性心疾患である狭心症や心筋梗塞は、血管の中にコレステロールや血栓が詰まり、血管の内腔が狭くなる動脈硬化が原因で起きます。高血圧や糖尿病、高脂血症といった生活習慣病や、喫煙、肥満などが動脈硬化を起こしやすいといわれ、血管内腔の75%以上がふさがると、胸の痛みによる失神などの症状が現れます。